



「知的資産経営報告書」

企業等で推奨される

「知的資産経営」のアプローチで町の強みを探り、
将来ビジョンへの方向性を探りました。

一緒に未来をつくりませんか

挑戦する人を応援する



神石高原町

J I N S E K I K O G E N T O W N



誰もが挑戦できる町だからできること

産業を担う若手人材、出身者による事業展開、新しいことを実践する多くの関係人口の皆さま。人のつながりが、大きな可能性を広げるまち。知的資産経営報告書の作成にあたり、そのごく一部の方にお聞きしました。

株式会社エブリー取締役

永谷 真次

(ながたにしんじ)さん

株式会社エブリーホームイホールディングスが町と連携協力協定を結んだのが平成30年6月下旬、その直後に西日本豪雨が発生し、協定に基づいて緊急支援を行いました。約250人が避難している町の避難所に支援物資を運んでほしいという要請が、夜中に町長から入りました。すぐに専用トラックを福山まで走らせて、食品スーパー「エブリー」の店舗から食糧などを積み込んで運ぼうと計画しましたが、福山市内の交通網は寸断状態。なんとかカートが確保できる店舗を探し、早朝に約400個の焼きたてパンを用意して、避難所に届けることができました。

私と神石高原町の関係でいえば、最初は私個人で取り組みを始めたものもあります。例えば、伝統ある「神龍味噌」が廃業すると聞いた時、「私が承継者を見つけてくる」といって候補者をマッチングしました。商品展開や販路開拓も手伝い、軌道に乗ってきてエブリーの店舗でも販売されるようになりました。今はPB商品に移行してうまくいっています。

小学校への出張授業や油木高校の総合学習での連携もあります。今後も地域の課題をエブリーの機能を使って解決していければいいですね。エブリーに「地域と未来に『美味しい』の輪を広げる」というスローガンがありますが、地域の素敵な「人・もの・思い」を未来につなげたいと思います。

福山市の
エブリーホームイグループは
町と協定を結び、
農産物流通 観光・
災害時支援など
連携関係をもつ



株式会社SHIIFT創業社長

町出身の事業家兄弟が
まちづくり会社を作った。
弟の丹下大(まさる)氏は



株式会社MSERRNT取締役広島支店長

丹下 工

(たんげたくみ)さん

兄弟で作った会社MSERRNT(マサーント)は、神石高原町のための事業をしますが、「この町が変われば日本が変わる」と思ってやっています。ここでうまくいったら他の地方でも真似できるはず。生まれ故郷に恩返ししたいというだけではありません。補助金や助成金は一切もらいません。私たちは、行政に頼らずに民間でできることをやる「まちづくり会社」です。ただし町で事業をやるには許認可も必要になる。そこは非常に早く対応してもらっていると思います。

「神石高原プロジェクト」では、まず町に住んでほしいペルソナ(具体的な人物像)を想定して、認知から体験、そして移住へと、段階を踏んで町を盛り上げる事業を計画しています。神石牛を東京で売るための飲食店や肥育のプロジェクト、複数の古民家をリノベーションして町全体を古民家ホテルにするなどワクワクする事業です。ラグジュアリーホテルも考えています。やりたいことの一つに「お祭り」があります。町外に出ている人も、年に1回は町に帰ってくるような魅力ある「神石高原町のお祭り」です。

私は、チャンスは誰にでも訪れていると思います。それをゲットできるかどうか、それがチャンスだと見えるかどうかの違いになる。色々なところにアンテナを張って、挑戦のチャンスをグッと引き寄せることが大事ですね。

大学卒業後の3年ほど広島県竹原市の会社で働いた後、町に戻って実家の工務店を継ぎました。ところが地域工務店の仕事は減る一方。数年後には、農業に力を入れていこうと決断し、地域を担う集落法人を目指しました。広告を出して農地を集めたりしましたが、補助金の条件に有利だったので牛を飼うことにしたのです。

黒毛和牛の「神石牛」は町のブランドに関わるものです。飼育の知識をもった方と一緒に始めたのですが、最初は経費だけ掛かる大きなペットのようなものでした。2番目に生まれた子牛が病気で死んでしまい、私が泣いていると、畜産業の同級生に言われたんです。「子牛は人間に食べられるために生まれてくる。それなら、その子の運命を全うさせてやるのが牛飼いなんだ」と。そこから、「遊び事ではない」と本気になりました。

繁殖牛と肥育を合わせると今106頭います。最初は米を中心に農業を始めましたが、米の作業が終わった後に白ネギの仕事をを入れて、雇用を生むこともできました。米と野菜には堆肥を使えるので、3本柱がいい関係になっています。農業は町の基幹産業なので地域が良くなるのが大事です。

循環型農業もやっています。バイオマスから出るバイオ炭を牛舎に敷いたり堆肥と混ぜたり、それ以外にも、やることはたくさんあると思っています。

経営面積
41ヘクタールの農業法人。
神石牛の生産強化、
こだわりの
米づくり、
後継者育成に
力を注ぐ



国内外で
人道支援 災害支援などに
取り組むNPOが
本拠地を置き、
地域医療を含む
連携協定を
結んでいる



ピースウィンズ・ジャパンは平成8(1996)年にイラクの人道支援活動から始まった団体です。数年後の新潟県中越地震あたりから、国内の災害支援にも力を入れるようになりました。そして、平成23(2011)年に東日本大震災が起きました。地方の過疎化、高齢化の中での災害を経験して、元々あった地域の課題に目を向けるべきと考えさせられました。

災害救助犬の事業を始めたのは、災害支援の中で人命救助が一番大事なことだからです。結果的に、それが注目されて「ピースワンコ」という、犬の殺処分ゼロを目指す大きな事業になりました。救助犬の育成場所を探していて神石高原町とご縁がつながったわけですが、最初に、地域の方々に受け入れてもらえたのが特にありがたいことでした。

国際プロジェクトの対象先であるネパールから農業研修生を招いて、町の農家や農業生産法人で研修をさせてもらいました。地域の方に温かく教えてもらって研修生はとても喜んでいました。一方で、地元の方にも異文化体験や交流をしてもらいたいという思いを私たちはもっています。

もっともっと地域の皆さんと一緒に取り組んでいく部分を増やしたいと思っています。地域の防災と一緒に考える機会を町内全体に広げていくなど、積極的に取り組んでいきたいですね。

神石高原町で かがやく もの・ひと・こと



JIN(神) プレミアム

町内で生産された産品や独自の取り組み、あるいは、自然、環境、人物などを神石高原町が独自の基準により神石高原プレミアムブランド「JIN(神)プレミアム」として認定するものです。その魅力を町内外へ発信することにより、町全体の知名度の向上を図り、産業振興および地域活性化に資することを目的としています。

認定対象の詳細はホームページにて。



神石高原チャレンジ基金 神石高原に新しいビジネス チャレンジを生み出す



地域に新しいビジネスチャレンジを創り出していくために、事業者に対して資金的支援+伴走型支援を組み合わせてサポートします。

人と自然が輝く高原のまち

人が魅力の「挑戦のまち」 神石高原町長 入江 嘉則 (いりえ よしのり)

広島県の東部、標高約500mの中山間地域にある神石高原町は「人と自然が輝く高原のまち」がキャッチフレーズです。初夏にはホタルの飛び交う、四季折々のあふれる自然が魅力ですが、それだけで



はありません。「誰もが挑戦できるまち」をめざしています。全世代の住民が生き生きと活動し、豊かな自然が暮らしに輝きを与える、そんな住んで良かった

と思ってもらえる町でありたいと願います。

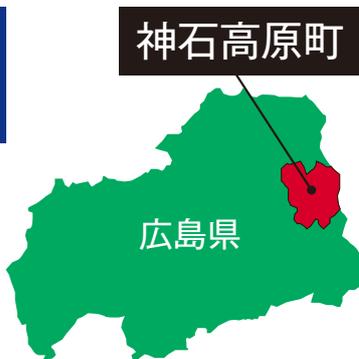
私は「挑戦」という言葉が好きです。一人ひとりが目標に向けて一歩を踏み出し、町民約8千人が一歩を踏み出せば、町は相当変わることができるでしょう。それが「輝く」ということなのかもしれません。もちろん、全ての町民が安心して安全に暮らせることがその前提です。人口減少という大きな問題に対しては、できるだけ減少を抑えるという努力以外にも、新しい技術の活用で労働力を補うことも必要でしょう。そして、先端技術

は若い人が地方で活躍する機会の創出にもつながります。

神石高原町には多種多様な人たちが集っています。町内で産業の中核にいる方や、町外から新しい風を吹き込んでくれる方々もいます。これが町の大きな強みとなっています。様々な分野で活躍される皆さんの姿を見ていただくと、町の魅力と可能性を感じてもらえるのではないのでしょうか。「神石高原町はいろいろなことに挑戦できます。自然の中で楽しんでみませんか」と、皆さんにお声がけしたいと思います。

DATA

町のデータ



神石高原町

広島県の東部に位置
北は庄原市、南は福山市、東は岡山県、西は府中市と接する

人口 8,016人 (令和6年 2月1日現在)

世帯数 3,785世帯

面積 381.98km²

標高 400~500m

平均気温 12.3℃

(令和5年 平均/気象庁データ/観測地点:油木) 広島市 17.5℃

最高気温 33.8℃

最低気温 -11.4℃ (令和5年)

「神」いづるまち
～出会いの高原～
神石高原町
観光ナビ



KEYWORD

キーワード

神石高原町の強みをつくり出している要素を、キーワードとして知的資産経営報告書の中からピックアップしました。くわしくは同報告書をご覧ください。



- 人・自然・技術の調和
- 新しい自分に出会える
- 澄んだ空気と水
- 神石高原の神楽
- 海外交流の教育支援
- 担い手のシビックプライド
- 災害救助犬・殺処分ゼロ
- 連携協力に関する協定
- 赤と黒のプロジェクト
- 地域医療と災害医療の融合
- ナマズ養殖とアクアポニックス
- 連携強化の観光振興
- 積極的SNS発信
- ウェアラブル端末で健康管理
- ドローンで有害鳥獣対策
- 特産品を生かした就農支援
- 企業版ふるさと納税
- 挑戦と協働のスパイラル

[問い合わせ]
神石高原町 政策企画課



〒720-1522 広島県神石郡神石高原町小島1701番地
TEL.0847-89-3351 FAX.0847-85-3394

<https://www.jinsekigun.jp/>

